

れいわ ねんど
2022 (令和4) 年度

にほんご にゅうがく
日本語コース入学ガイド

がっこうほうじん み え とくふうがくえん
学校法人三重徳風学園

とくふうこうとうがっこう とくふうぎのうせんもんがっこう
徳風高等学校 徳風技能専門学校

はじめに

ほんがくえん つぎ がっこうぞう じつげん め ぎ
本学園は、次の2つの学校像の実現を目指しています。

- “「**困り感**」や「**生きにくさ**」を感じながらも何とか生きていこうとする子どもたちを受け入れ、仲間と共に**学校生活を送る場を徹底して保障する学校**”
- “生徒が「**社会人として必要な基礎的・基本的な学力**」と「**職業人として必要な実践的・専門的な技能**」を身に付け、**入学時に想定されたよりも大きな成長を遂げて卒業する学校**”

にほん にほんご じゆう つか こま かん い かん いっしょうけんめい
日本には、日本語を自由に使えず「**困り感**」や「**生きにくさ**」を感じながらも一生懸命に生きている子どもたちがたくさんいます。三重県では、公立小中学校における日本語指導が必要な**外国籍の児童生徒の在籍率は全国第1位**（令和元年5月1日現在）となっています。そこで、本学園は、「**外国にルーツを持ち、外国につながる日本語指導を必要とする生徒等**」を受け入れ、**日本語の習得と高等学校卒業の両方を目指す「日本語コース**」を令和3（2021）年度に開設しました。

ほんがくえん いっかんせい がっこうけいえいりねん せいとうけいれほうしん もと せんもんてき
本学園は、このように**一貫性のある学校経営理念**と**生徒受入方針**の下、“**専門的・本格的な日本語教育を受けながら高等学校卒業を目指すことができる三重県内唯一の学校**”として、**進化を遂げていこうと**考えています。

こうとうがっこう がくしゅう ひつよう まな にほんご そつぎょうご じりつ しゃかいさんか
さあ、高等学校の**学習に必要な「学ぶための日本語**」と、卒業後の**自立と社会参加**
に必要な「**生きるための日本語**」を本学園の「**日本語コース**」で**マスターし、自分の夢と**
希望に向かって**大きな一歩を踏み出しましょう！**

I 徳風^{とくふう}って、どんな学校^{がっこう}？

本学園^{ほんがくえん}には、他の学校^{ほか がっこう}にはあまり見られない独自の^み仕組み^{どくじ}や取組^{しゅく}がたくさんあります。私たち^{わたくし}は、それらを“徳風スタイル”^{とくふう}と呼んで^よいます。その一部^{いちぶ}を次に紹介^{つぎ}します。

“徳風スタイル”^{とくふう}

○ ホームルーム

ホームルームは30人^{にん きほん}を基本として^{にん}います。なお、日本語^{にほんご}コースは20人^{にん}とします。

○ 授業^{じゅぎょう}

授業^{じゅぎょう}は9時30分^じに始まり^{ぶん}、1コマ45分^{ぶん}を基本として^{きほん}います。

○ 併修^{へいしゅう}

徳風技能専門^{とくふうぎのうせんもん}学校の授業^{がっこう}（例えば日本語^{じゅぎょう}を学ぶ授業^{たと}等^{にほんご}）を受け^{まな}、その単位^{じゅぎょうなど}は徳風高等学校^うの単位^{たんい}として認定^{とくふうこうとうがっこう}されます。この高専併修^{こうせんへいしゅう}という仕組み^{しく}により、両校^{りょうこう}の卒業^{そつぎょう}が可能^{かのう}になります。

○ 中間試験・期末試験^{ちゅうかんしけん きまつしけん}

試験期間^{しけんきかん}は5日間^{いつかかん}と長く^{なが}し、一日^{いちにち}に受ける試験^うを少なく^{しけん}しています。

○ 補充授業^{ほじゅうじゅぎょう}

長期入院^{ちやうきにゆういん}や不登校^{ふとうこう}等^{など}のやむを得ない理由^えで欠席^{りゆう}が多くなり^{けつせき}、単位の認定^{おお}が困難^{たんい}となった生徒^{にんてい}には、年度末^{こんなん}に通^{せいと}常^{ねんどまつ}の時間割^{つうじょう}とは別に特別時間割^{じかんわり}をつくり^{べつ}、不足^{とくべつじかんわり}する時間数^{ふそく}の補充授業^{じかんすう}を実施^{ほじゅうじゅぎょう}して^{じっし}います。

○ スクールバス

登下校時^{とうげこうじ}は、学校^{がっこう}と亀山駅^{かめやまえき}の間^{あいだ}を約5分間^{やく ぶんかん}で運行^{うんこう}するスクールバス^{むりょう}があり、無料で利用^{りよう}できる^{むりょう}ようにしています。

○ 生徒寮^{せいとりょう}

遠方^{えんぽう}の生徒^{せいと}だけでなく、基本^{きほん}的生活^{てんせいかつ}習慣^{しゅうかん}に課題^{かだい}を持つ生徒^も等^{せいと}も入寮^{にゅうりょう}できます。

なお、日本語^{にほんご}コースの生徒^{せいと}の入寮^{にゅうりょう}については、入寮^{にゅうりょう}希望^{きぼう}生徒^{せいと}の日本語能力^{にほんごのうりよく}を踏まえ^ふつつ、他の^{ほか}寮生^{りょうせい}と無理^{むり}なく集団生活^{しゅうだんせいかつ}を送^{おく}ることができる^{みと}と認め^{ぼあい}られる場合は^{ねんじ}、1年次^{ねんじ}からの入寮^{にゅうりょう}も可能^{かのう}として^{かろう}います。

II 日本語コースって、どんなコース？

Q：どんな人のためのコースですか？

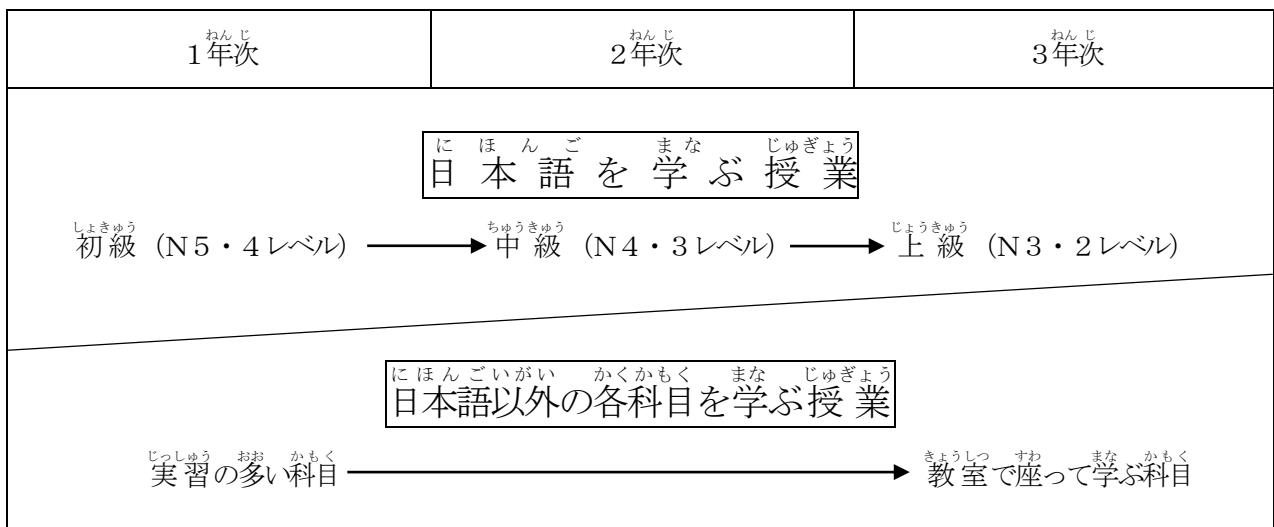
A：日本語の力が不足しているために、高校での学習に不安を感じている人を積極的に支援するコースです。「日本語を自由に使えるようになりたい」、「高校を卒業して将来も日本で生きていきたい」という人、特に外国にルーツを持ち、外国につながる人や外国から帰国した人に最適なコースです。

Q：どんな授業を受け、どのように学んでいくのですか？

A：「日本語を学ぶ授業」では、日本語の初級から上級まで学んでいきます。特に1年次は、日本語を学ぶ授業を多くして集中的に学びます。進学を希望する人は「日本語能力試験（JLPT）」のN2以上の合格、就職を希望する人はN3以上の合格をそれぞれ目指します。
また、「日本語以外の各科目を学ぶ授業」では、高校卒業に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の必修科目を中心に、実習の多い科目から教室で座って学ぶ科目へと順に学んでいきます。

なお、年次が進むにつれて、「日本語を学ぶ授業」は少なくなり、逆に「日本語以外の各科目を学ぶ授業」は多くなります。

カリキュラム全体のイメージ図



(備考) 「日本語を学ぶ授業」も「日本語以外の各科目を学ぶ授業」も授業は全て日本語で行います。

れいわ3ねんどにほんご にゅうがくせい きょういくかてい
 令和3年度日本語コース入学生の教育課程（カリキュラム）

きょうか 教科		かまく たんいすう 科目（単位数）			
		ねんじ 1年次	ねんじ 2年次	ねんじ 3年次	けい 計
ふつう きょうか 教科	こくご 国語		こくごそうごう 国語総合（2）	こくごそうごう 国語総合（2）	4
	ちりれきし 地理歴史		せかいし 世界史B（4）		4
			ちり 地理B（4）		4
	こうみん 公民			げんだいしゃかい 現代社会（2）	2
	すうがく 数学		すうがく 数学I（2）	すうがく 数学I（3）	5
	りか 理科		かがく にんげんせいかつ 科学と人間生活（2）	せいぶつきそ 生物基礎（2）	4
	ほけんたいいく 保健体育	たいいく 体育（2）	たいいく 体育（2）	たいいく 体育（3）	7
			ほけん 保健（1）	ほけん 保健（1）	2
	げいじゆつ 芸術	おんがく 音楽I（2）		しょどう 書道I（2）	4
	がいこくご 外国語	コミュニケーション英語I（2）	コミュニケーション英語I（2）	えいごひょうげん 英語表現I（2）	6
	かてい 家庭		かていきそ 家庭基礎（2）		2
じょうほう 情報	しゃかい じょうほう 社会と情報（2）		じょうほう かがく 情報の科学（2）	4	
そうごう がく 総合（学）	そうごう がく 総合I（学）（1）	そうごう がく 総合II（学）（1）	そうごう がく 総合III（学）（1）	3	
	そうごう がく 総合IV（学）（2）	そうごう がく 総合IV（学）（2）	そうごう がく 総合IV（学）（2）	6	
せんもん きょうか 教科	しょうぎょう 商業		じょうほうしり 情報処理（2）		2
	ぶんか きょうよう がく 文化・教養（学）			ライフスキル（学）（1）	1
		にほんご がく 日本語I（学）（15）	にほんご がく 日本語II（学）（7）	にほんご がく 日本語III（学）（7）	29
		にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	3
そうごうてき たんきゅう じかん 総合的な探究の時間	2	1	1	4	
たんいすう そうけい 単位数の総計	29	35	32	96	

（備考） せんもんきょうか に属する「じょうほうしり」、「ライフスキル（学）」、「にほんご がく 日本語I（学）」等のせんもん科目は徳風技能専門

がっこうのかまぐくとしてまなぶ、しゅうとくした科目のたんいは、とくふうこうとうがっこうのたんいとしてもにんていされます。

れいわ ねんどにほんご にゅうがくせい きょういくかてい
令和4年度日本語コース入学生の教育課程（カリキュラム）

きょうか 教科		かまく たんいすう 科目（単位数）				
		ねんじ 1年次	ねんじ 2年次	ねんじ 3年次	けい 計	
ふつう 普通 きょうか 教科	こくご 国語		げんだい こくご 現代の国語（2）	げんごぶんか 言語文化（2）	4	
	ちりれきし 地理歴史		ちりそごう 地理総合（2）	れきしそごう 歴史総合（2）	4	
	こうみん 公民		こうきょう 公共（2）		2	
	すうがく 数学		すうがく 数学I（4）	すうがく 数学I（2）	6	
	りか 理科		かがく にんげんせいかつ 科学と人間生活（2）	せいぶつきそ 生物基礎（2）	4	
	ほけんたいいく 保健体育	たいいく 体育（2）		たいいく 体育（2）	たいいく 体育（3）	7
				ほけん 保健（1）	ほけん 保健（1）	2
	げいじゆつ 芸術	おんがく 音楽I（2）		しよどう 書道I（4）	6	
	がいこくご 外国語	えいご 英語コミュニケーションI（2）	えいご 英語コミュニケーションI（2）	ろんり ひょうげん 論理・表現I（2）	6	
	かてい 家庭		かていきそ 家庭基礎（2）		2	
	じよほう 情報	じよほう 情報I（2）	じよほう 情報II（2）		4	
そうごう がく 総合（学）	そうごう I がく 総合I（学）（1）	そうごう II がく 総合II（学）（1）	そうごう III がく 総合III（学）（1）	3		
	そうごう IV がく 総合IV（学）（2）	そうごう IV がく 総合IV（学）（2）	そうごう IV がく 総合IV（学）（2）	6		
せんもん 専門 きょうか 教科	しよぎやう 商業			じよほうしよりに 情報処理（2）	2	
				ライフスキル がく （学）（1）	1	
	ぶんか きよやう がく 文化・教養（学）	にほんご がく 日本語I（学）（15）	にほんご がく 日本語II（学）（7）	にほんご がく 日本語III（学）（7）	29	
		にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	にほんごかつどう がく 日本語活動（学）（1）	3	
そうごうてき たんきやう じかん 総合的な探究の時間	2	2	2	6		
たんいすう そうけい 単位数の総計	29	34	34	97		

（備考） せんもんきょうか
専門教科に属する「じよほうしよりに
情報処理」、「ライフスキル がく
（学）」、「にほんご がく
日本語I（学）」等の専門科目は徳風技能専門

がっこう かまく
学校の科目として学び、しゆとく
修得した科目の単位は、とくふうこうとうがっこう たんい
徳風高等学校の単位としても認定されます。

III 日本語コース募集要項

にゅうがくていいん しゅつがんしかく

1. 入学定員・出願資格

にゅうがくていいん 入学定員	しゅつがんしかく 出願資格
めい 20名	ちゅうがっこうそつぎょう そつぎょうみこもの 中学校卒業または卒業見込みの者

ぼしゅうわく

2. 募集枠

にゅうしゅくぶん 入試区分	ぼしゅうわく 募集枠
すいせんにゅうし せんがん 推薦入試（専願）	にゅうがくていいん わり 入学定員の10割
いっぼんにゅうし へいがん 一般入試（併願）	じっし 実施しません。
じにゅうし せんがん 2次入試（専願）	すいせんにゅうし にゅうがくていいん み ばあい じっし 推薦入試で入学定員に満たない場合に実施します。

にゅうしゅくぶん しゅつがんようけん にゅうしほうほう

3. 入試区分・出願要件・入試方法

にゅうしゅくぶん 入試区分	しゅつがんようけん 出願要件	にゅうしほうほう 入試方法
すいせんにゅうし せんがん 推薦入試A（専願）	だい がくねん ひょうていへいきんち いじょう じんぶつ 第3学年の評定平均値が3.0以上で、人物 すぐ ちゅうがっこうちやう すいせん もの に優れ、中学校長が推薦する者	こじんめんせつ ○個人面接
すいせんにゅうし せんがん 推薦入試B（専願）	だい がくねん ひょうていへいきんち いじょう みまん 第3学年の評定平均値が2.5以上3.0未満で、 じんぶつ すぐ ちゅうがっこうちやう すいせん もの 人物に優れ、中学校長が推薦する者	ひつきしけん きょうか ○筆記試験（2教科） こくご すうがく えいご 国語、数学または英語
すいせんにゅうし せんがん 推薦入試C（専願）	にゅうがく つよ きぼう がくしゅういよく たか もの 入学を強く希望し、学習意欲の高い者	こじんめんせつ ○個人面接
じにゅうし せんがん 2次入試（専願）	にゅうがく きぼう もの 入学を希望する者	ひつきしけん きょうか ○筆記試験（3教科） こくご すうがく えいご 国語、数学、英語 こじんめんせつ ○個人面接

つぎ りゅうい
次の(1)～(4)に留意してください。

(1) 日本語コースの出願要件については、上記の出願要件に加え、次のア、イの両方を追加の出願

ようけん がいこくせき ゆう ものおよ かいがい きこく もの にゅうこくご きこくご
要件とします。なお、外国籍を有する者及び海外から帰国した者については、それぞれ入国後・帰国後

ざいにちきかん と
の在日期間は問いません。

にほんご けいとてき そうごうてき がくしゅう ひつよう にほんご じっせんてき のうりよく
ア 「日本語を系統的・総合的に学習する必要があり、日本語の実践的コミュニケーション能力の

こうじょう つよ きぼう もの
向上を強く希望する者」

にほんこくさいきょういくしえんきょうかい こくさいこうりゅうきんしゆさい にほんごのうりよくしけん も
イ 「日本国際教育支援協会・国際交流基金主催の日本語能力試験 (JLPT) の「N5」若しくは
「N4」に合格した者または同程度の日本語能力を有する者」(「N3」以上に合格した者または
どうていど にほんごのうりよく ゆう もの しゅつがん
同程度の日本語能力を有する者は出願できません。)

- (2) にほんご かきょうか ひつきしけん もんだいようしなど かんじ よ
日本語コースの各教科の筆記試験は、問題用紙等の漢字に読みがな(ルビ)が付いています。
- (3) にほんご こくご ひつきしけん にほんご のうりよく ないよう にほんごのうりよくしけん
日本語コースの国語の筆記試験は、日本語の能力をみる内容です。(日本語能力試験(JLPT)の「N5」ま
たは「N4」に合格した者を対象とする国語の筆記試験の免除はありません。)
- (4) にほんご こじんめんせつ にほんご おこな
日本語コースの個人面接は日本語で行います。

しゅつがんきかん しけんび ごうかくはつびようび
4. 出願期間・試験日・合格発表日

にゅうしゅくぶん 入試区分	しゅつがんきかん うけつけじかん 出願期間・受付時間	しけんび 試験日	ごうかくはつびようび 合格発表日
すいせんにゅうし 推薦入試	がつ にち かようび 1月11日(火曜日)～ がつ にち きんようび じ じ 1月14日(金曜日)9時～16時	がつ にち 1月22日 どようび (土曜日)	がつ にち 1月28日 きんようび (金曜日)
じにゅうし 2次入試	すいせんにゅうし にゅうがくていいん み ばあい がつちゅう じっし よてい しょうさい がつ 推薦入試で入学定員に満たない場合に3月中に実施する予定です。詳細は、2月 15日以降に公表予定の「令和4年度生徒募集要項(2次入試)」でお知らせします。		

ごうかくはつびよう じゅけんしやおよ ちゅうがっこうちよう ゆうそう ぶんしよ つうち
○合格発表は、受験者及び中学校長あてに、郵送にて文書で通知します。

かなら しゅつがんまえ ほんこう にゅうがくそうだん う
○必ず出願前に、本校で「入学相談」を受けてください。

しゅつがんでつづ
5. 出願手続き

(1) つぎ しよるい ていしゅつ
次の①～⑤の書類を提出してください。

① にゅうがくがんしよ
入学願書

② ちょうさしよ
調査書

③ すいせんしよ すいせんにゅうし じゅけん ばあい じ こすいせんしよ すいせんにゅうし じゅけん ばあい
推薦書(推薦入試AまたはBで受験の場合)または自己推薦書(推薦入試Cで受験の場合)

④ ごうひつちようふうとう じゅうしよ・じゅけんしやめい きにゅう えんぶん きって ちょうふ ふうとう
可否通知用封筒(住所・受験者名を記入し、500円分の切手を貼付した封筒。)

⑤ ざいりゅう うつ ちゅうがっこう かねんど そつぎょう もの
「在留カード」の写し(中学校を過年度に卒業した者のみ。)

じゅけんりよう えん かき ぎんこうこうざ ふりこみ のうにゅう
(2) 受験料15,000円を、下記の銀行口座に振込で納入してください。

ガク) ミエトクフウガクエン
三十三銀行 亀山中央支店 (普通) 744245 学校法人 三重徳風学園

(3) その他

- ア 振込金受領書のコピーまたは振込証明書、出願書類とともに提出してください。
- イ 受験料の納入期間は、出願期間初日の1ヵ月前から出願期間最終日までです。
- ウ 出願書類を郵送する場合は、「入学願書在中」と朱書きした封筒(各自準備)に受験票の郵送用封筒(送付先中学校等の住所明記。440円分の切手貼付。)を同封し、簡易書留で送付してください。
- エ 受理した書類及び納入していただいた受験料は、理由の如何を問わず返還できませんので御了承ください。

6. 合格手続き(入学金納入)

- (1) 合格手続きとして、下記の期間内に、入学金45,000円を納入してください。

入試区分	納入期間	納入金
推薦入試合格者	1月28日(金曜日)～2月3日(木曜日)	45,000円(入学金)

(2) その他

- ア 手続き方法の詳細は、合格発表時にお知らせします。
- イ 期間内の納入が確認できない場合は、入学辞退とみなします。
- ウ 納入していただいた入学金は、理由の如何を問わず返還できませんので御了承ください。

7. 入学手続き(施設設備費納入)

- (1) 入学手続きとして、下記の期日までに、1年次の施設設備費180,000円(年額)を納入してください。

入試区分	納入期日	納入金
推薦入試合格者	2月10日(木曜日)	180,000円(施設設備費)

- (2) 2・3年次の施設設備費は年額84,000円で、3期(4月・8月・12月)に分けて納入していただきます。

8. 授業料等

種別	月額	備考
授業料	32,500円 (年額390,000円)	国の高等学校等就学支援金制度により、授業料の全部または一部が減額になることがあります。【注】

- 授業料以外に、月額で教育充実費13,500円(2・3年次は14,500円)、学年諸費約2,000円及び修学旅行積立金6,500円(1年次5月から2年次10月まで)の納入が必要です。

- 入学時に、制服・体操服・上履き・体育館シューズ・柔道着(男子のみ)の購入費及び教科書・副教材等の購入費の一括納入が必要です。その合計額は約110,000円です。

【注】保護者等の所得について、次の計算式による算出額に応じて、以下のとおり授業料が減額されます。

<計算式>：(市町村民税の課税標準額×6%)－(市町村民税の調整控除の額)

154,500円>算出額・・・授業料の全部を減額(年額390,000円支給)

154,500円≤算出額<304,200円・・・授業料の一部を減額(年額118,800円支給)

304,200円≤算出額・・・授業料の減額なし。

9. 寮費

種別	月額	備考
寮費	30,000円 (年額360,000円)	水道光熱費を含みます。年額360,000円を3期(4・8・12月)に分けて納入。
食費	約24,000円	食材等の高騰等により変動があります。8月は閉寮のため納入不要。

- 入寮時の納入金は、入寮費160,000円と寮費1期分120,000円の合計280,000円となります。入学手続き(施設整備費納入)と同じ期日までに納入してください。

10. 奨学金

各県高等学校等修学奨学金、阿部育英基金及び三重徳風学園奨学金があります。いずれも学業成績等所定の条件を満たす場合は申請可能です。なお、三重徳風学園奨学金は、他の奨学金の補完を目的とし、他の奨学金を受給してもなお経済的理由で修学が困難な場合に申請可能としています。